

事業所名

児童デイサービス事業所『ひかり』

支援プログラム

作成日

2025 年

11 月

10 日

法人（事業所）理念		真に利用者本位の福祉サービスを実現し 地域に根ざした経営を行い 地域福祉の発展に貢献する			
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人としての尊厳を大切にし利用者の権利擁護に努めます。</li> <li>2. 利用者一人ひとりの個性を重んじニーズに沿った個別のサービス提供に努めます。</li> <li>3. 真心をもって創意工夫することで質の高いサービス提供に努めます。</li> <li>4. 利用者の主体的な暮らしや活動を専門的な立場で支援します。</li> <li>5. 利用者が快適な地域生活を送れるよう支援します。</li> <li>6. 地域の福祉資源の一つとして多様なニーズに応えます。</li> <li>7. 地域と協働してだれもが住みよいまちづくりに努めます。</li> </ol>			
営業時間		<ol style="list-style-type: none"> <li>①平日放課後14:30～17:30</li> <li>②長期休暇・土曜営業日9:30～15:30</li> <li>③始業式終業式など11:00～17:30</li> </ol>	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	※山間部・海岸部などを除く。 ※原則自宅送迎だが、状況に応じて待ち合わせ地点を設定する。
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ol style="list-style-type: none"> <li>①健康状態の把握や増進…健康面のチェック(学校・保護者との連携)、食事面、活動時の安全確保など</li> <li>②生活スキルの獲得・向上…手洗いなどの保清、片付け、食事、衣類の着脱、排泄面等</li> <li>③時間や空間の構造化…過ごし方や遊び方のルール設定、スケジュール表などの視覚支援</li> </ol>			
	運動・感覚	<ol style="list-style-type: none"> <li>①運動機会や遊びを通じての発達促進…日課に外遊びや散歩等を取り入れたり、個別に運動機会を設けて個別支援する。</li> <li>②感覚過敏への諸対応…各自の特性を踏まえて感覚の偏りに対する環境調整を行う(温度、音、接触など)。</li> </ol>			
	認知・行動	<ol style="list-style-type: none"> <li>①概念(時間・数量・大小)の形成…活動や遊びのなかで時間や数量に対する経験を積みながらのスキル獲得を支援する。</li> <li>②拘りや偏食への対応…行動分析を踏まえて拘りの軽減や他の行動への置き換え、自他共に支障が無ければ容認するなど状況に応じた支援をする。偏食に関しては発達段階を踏まえて食べられる事を最優先しつつも様々な食品を食べる経験の機会を設ける。</li> <li>③行動障害の予防や対応…自他への影響が大きくなるように行動分析及び支援プログラムを作成して予防・軽減を軸に対応する。</li> </ol>			
	言語 コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>①言語や代替手段の活用機会の設定…集まりを当番制にして発表機会や共同注意の獲得を促す。また、職員との関りの中で話す・聞く・考える場面を意図的に設定する。</li> <li>②指差し・身振り、<b>絵カード</b>といったACC(代替コミュニケーション支援)の活用や読み書き支援…言葉以外の手段を用いて理解や意志表出を促したり、個人状況に応じて製作活動・レクなどを通じて読み書き能力向上の機会を設定する。</li> </ol>			
	人間関係 社会性	<ol style="list-style-type: none"> <li>①人間関係・信頼関係の樹立…職員などキーパーソンとの関係を軸に安心できる人間関係を広げていく。</li> <li>②模倣行動による学び、一人遊びから協同遊びへの支援…職員の介入により遊びの枠組みを広げてルール・マナー・社会性の発達を促す。</li> <li>③集団行動のスキル獲得…集団に参加するための手順・ルール・必要な支援を個別に整理して提供する。</li> </ol>			
家族支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>①家庭状況・育児面での困り感の把握</li> <li>②必要な相談援助</li> <li>③レスパイト・就労支援としての延長対応</li> </ol>	移行支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ライフステージの切り替えを見据えての支援内容の変更</li> <li>②並行利用先との連携</li> <li>③発達段階の評価や、将来移行する際の情報提供や途切れの無い支援。</li> </ol>		
地域支援・地域連携	学校・並行利用先・支援センターなどとの連携		職員の質の向上	意思決定支援に関する勉強会、救急法講習会、虐待防止勉強会 毎月のミーティングはケース検討会・勉強会を兼ねる事もある。	
主な行事等	お楽しみ会(5月)・ボウリング大会(9月)・クリスマス会(12月)				